

科目名	デッサン研究		科目コード	1008	
開講学科	美術学科	単位数	4 (計)	形態	演習
教員名	戸塚 弥夫				
授業の目的及びテーマ：					
デッサンにおいて対象を正確に再現する能力を養う。					
授業概要					
デッサンとは目と手と道具（鉛筆・木炭等）の連動によって対象を平面上に表す行為とひとまず言える。これは描写性と造形性の重なりを必要として造形制作の基礎能力と考えます。この行為には様々な要素があって、その要素を確認する授業としたい。					
授業計画：					
<p>【通信課題】</p> <p>第1 課題(課題 No.0 1)</p> <p>2つの立方体を描く。</p> <p>第2 課題(課題 No.0 2)</p> <p>鉛筆による静物デッサン。ビン、布、金属性のオブジェを描く。</p> <p>〈課題提出様式〉</p> <p>第1 課題①B3 ケント紙。鉛筆 4B～HB（全部使わなくてもよい、1～2 種でも可）</p> <p>第2 課題①B3 ケント紙。鉛筆 4B～HB</p> <p>【面接授業課題】</p> <p>デッサンは現代では自由に描いて良いのですが（個性表現という意味では）この授業では基礎的技術を身につけることが目的ですから共通の制限をした課題で客観的評価をします。</p>					
テキスト	「デッサン」 白石道夫、戸塚弥夫 共著 (大阪芸術大学発行)		参考文献：		
評価方法：					
通信授業は提出課題{2 件)を以って評価する。					
面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					